

令和3年度 岡山県地区防災計画等作成モデル事業

地域防災力の向上で「逃げ遅れゼロ」を目指して  
『金浦地区防災計画』の策定  
・・・取り組み成果報告・・・

令和4年3月18日

金浦地区まちづくり自治協議会  
防災部会

## 金浦地区の概要



生江浜



吉浜



吉田川



### ● 地域の構成と規模

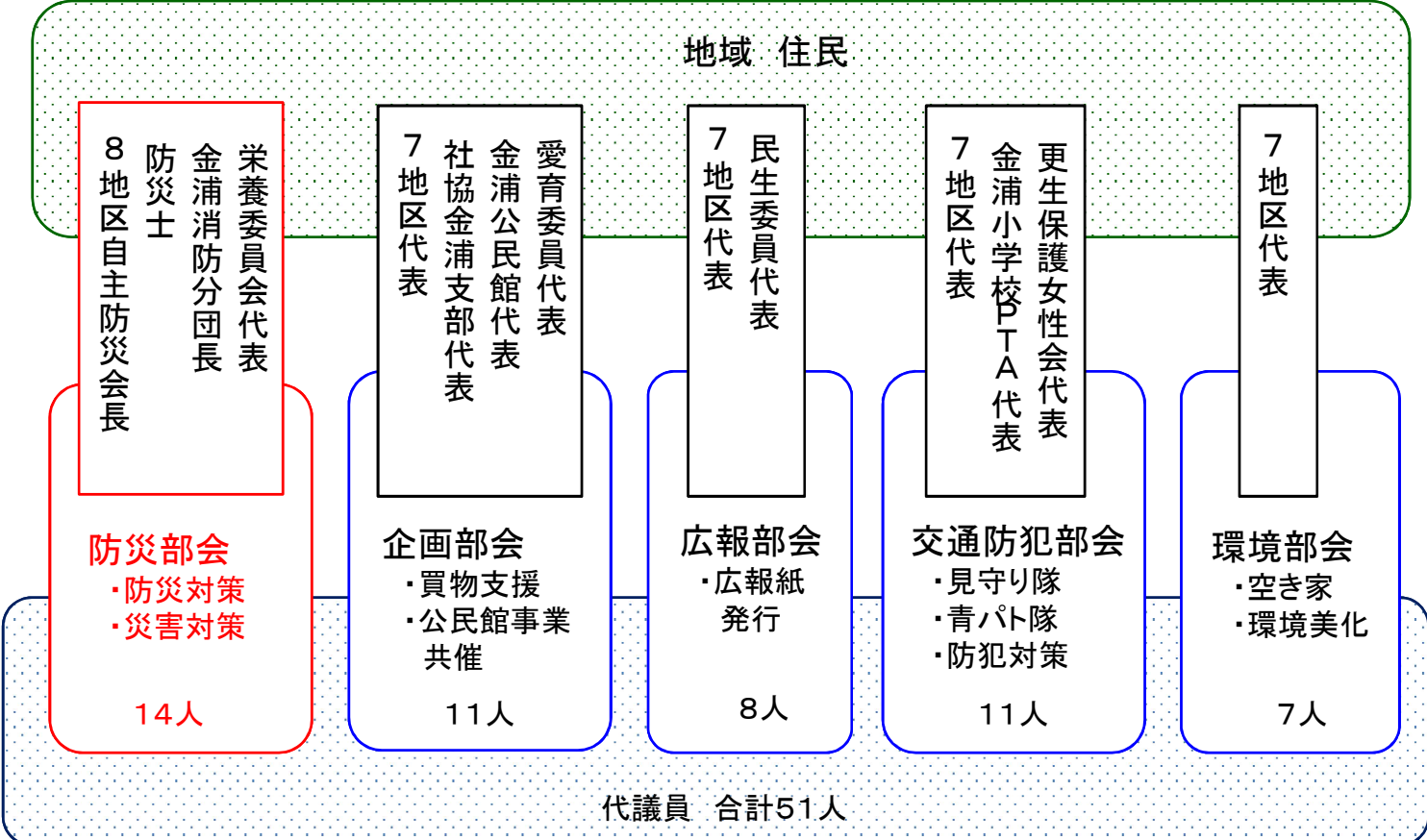
- ・大河、相生、金浦、吉浜、旭が丘、生江浜の6地区
- ・約2,200世帯、約4,600人(笠岡市の約10%)
- ※1地区の規模は約200人から約1,200人

### ● 地域の特性

- ・2級河川の吉田川水系が南北に、東西には用之江川水系
- ・吉浜、生江浜、金浦地区は江戸時代(1670年頃)の干拓地  
⇒ 海拔「0m地帯」が多くを占める
- ・金浦、生江浜地区は瀬戸内海(金浦湾)に隣接  
⇒ 台風16号(平成16年)の高潮被災で防潮堤整備

# 金浦地区まちづくり協議会の体制概要

金浦地区まちづくり  
自治協議会  
・平成23年9月発足



各部会開催は年6回

<各地区の規模>

金浦地区		相生	大河	旭が丘	吉浜	金浦	生江浜	6地区
人口／世帯数 (R3.6現在)		196／86	208／98	842／564	1,036／482	1,111／561	1,236／564	4,622／2196
エリア	地区	1	1	1	1	2(鉄北・鉄南)	1	7地区各4人 計28人
	代議員	4	4	4	4	8(鉄北・鉄南)	4	
自主防災会		1	1	1	2(南・北)	2(鉄北・鉄南)	1	8地区

## これまでの10年間の主な取り組み

区分	主な実施項目	H24年度～H28年度	H29年度～R3年度	備考
資機材	・防災資機材の配備	H24	→	防災倉庫23基／15個所
避難	・海拔表示板の取付	H25		54個所
	・津波避難場所の指定・一覧配布	H25		津波想定・33個所
	・緊急避難場所の指定と一覧配布	H28		58個所
	・指定緊急避難場所に表示板取付		H29	
	・各地区防災マップの作成・配布	H25～H26		7地区(旭が丘地区除く)
要支援者支援	・個別避難計画を作成		R1～	R2年度から毎年度更新
初期消火	・格納箱の点検・整備		R1	61個所
研修・訓練	・防災講話・HUG・避難・消火操作他	8回／7地区	9回／7地区	目標:各地区2年に1回

### 平成30年7月西日本豪雨による被災

累計雨量330mm:・・・7月5日8:20～7月7日16:50

- ・吉田川水系・用之江川水系が氾濫  
吉浜・金浦地区が被災・・・浸水面積:109ha
- ・内水氾濫危険個所内の大溝川が氾濫  
生江浜地区が被災・・・浸水面積:2ha

区分	吉浜	金浦	生江浜	合計
床上浸水	29	0	1	30
床下浸水	62	3	21	86
計	91	3	22	116

吉浜地区



生江浜地区

## これまでの活動の振り返り

- 平成30年7月西日本豪雨の教訓が活かされていない
  - ①被災時に、これまでの活動は活かされたか？・・・災害対策機能、近隣地区との連携・支援等
  - ②被災以降、教訓が活かされた活動や施策であるか？・・・住民の避難行動と避難支援等
- 自主防災組織づくりと防災活動の取り組みは**地区により温度差が大きい**
- 地域としての**防災活動の目標がない**
- 個別避難計画を作成(2020年3月)したが、**発災時に活用できるか？**

## これからの活動の基本スタンス

南海トラフ巨大地震や水害(西日本豪雨規模)を想定

- 住民の視点での防災・減災活動で、災害時の「逃げ遅れゼロ」を目指す**
  - ⇒ 地域特性や想定される災害に応じた、住民による**自発的な防災活動に関する計画づくり**
  - ⇒ 自ら身を守り、家族・仲間を守り、地域を守るため、「**支え合い・助け合い**」の**仕組みづくり**



### 組織

- ◆**災害時、住民支援活動ができる組織づくり**
  - ・自主防災会の機能強化と住民の認知
    - ⇒ 地区の特性等を考慮した体制構築
  - ・各地区自主防災会の活動支援と地区の相互支援
    - ⇒ 防災部会の体制見直し

### 活動

- ◆**住民主体の自発的な防災活動の促進**
  - ・活動目標、活動指針等の策定・共有
    - ⇒ 「地区防災計画」として文書化
  - ・日頃から、顔の見える関係づくり
    - ⇒ 研修・訓練等とおした地域のつながり

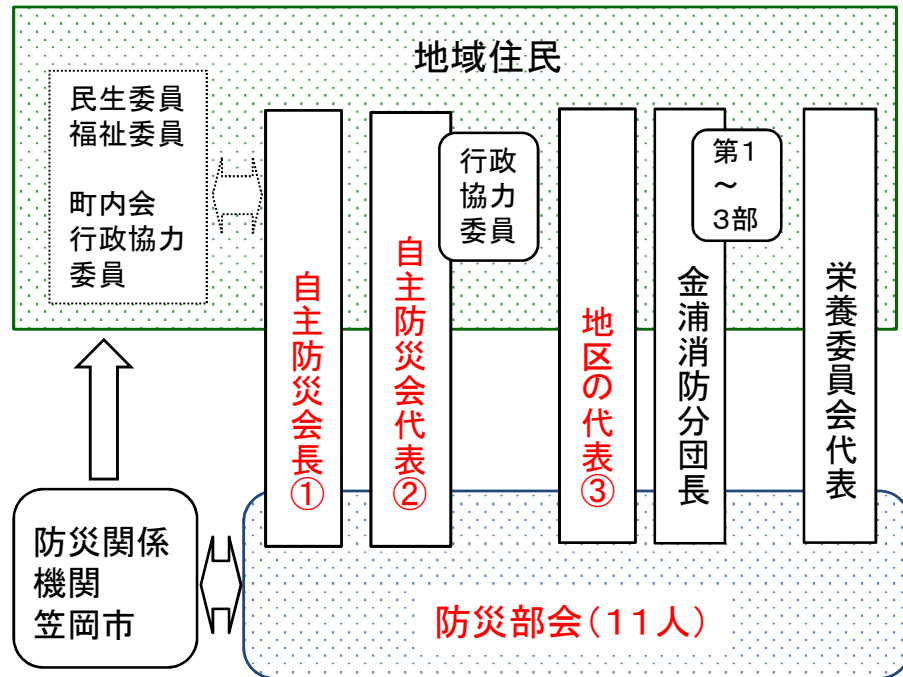


## 防災部会の体制見直し

住民の観点から、各地区自主防災会の活動目標・活動指針等の共有化を図り、自主防災会の主体的な活動が支援できる体制を新たに構築する。

### これまでの防災部会の体制

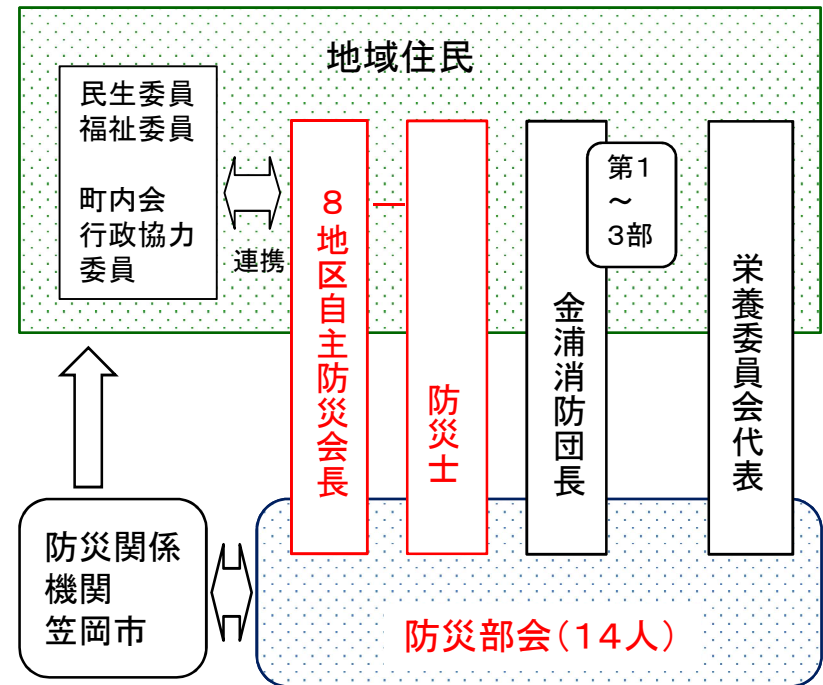
2012(H24)年5月発足 ～ 2021(R3)年3月まで



- ・金浦地区には8つの自主防災会
- ・防災部会代議員は、①と②と③の3パターン
- ・防災部会の活動は年6回

### 新たな防災部会の体制

2021(R3)年4月 ～



- ・防災部会代議員は各地区自主防災会長
  - ・防災士は各地区自主防災会に所属、代議員に追加
  - ・防災部会の活動は年6回
- ※今後、更なる防災部会体制見直し予定

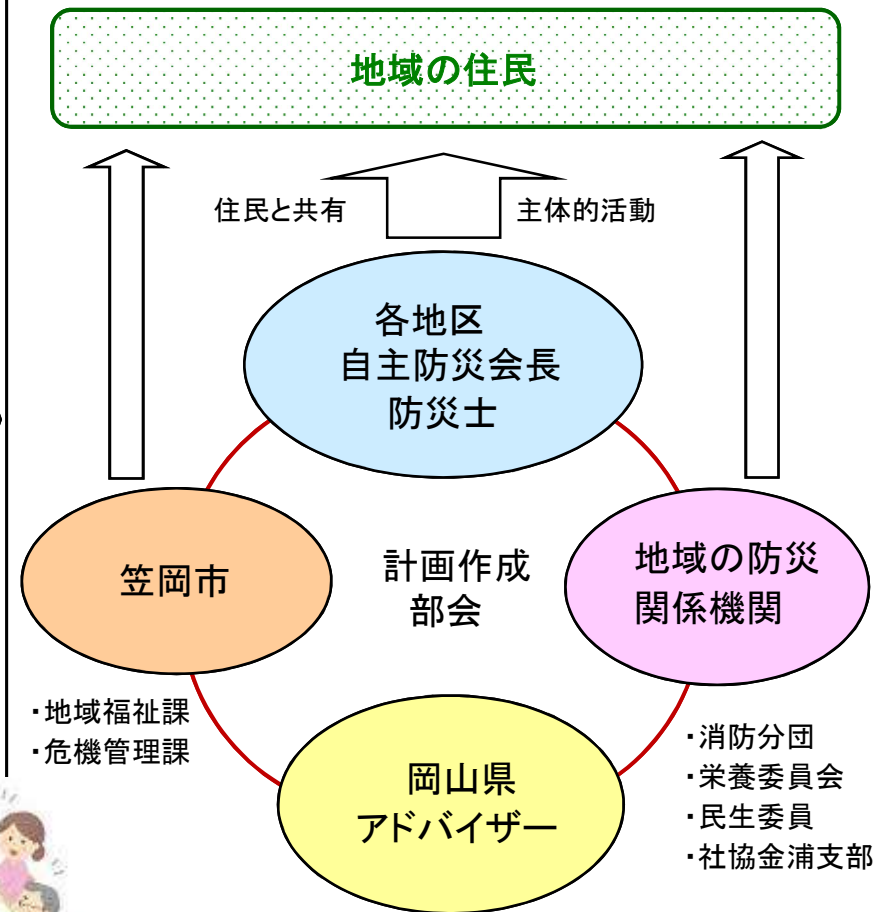
## 防災活動の目標と活動指針等の策定

金浦地区として、共助に基づく自発的防災活動を促進、**地区の特性に応じた実行性のある地区防災計画を、令和3年度岡山県地区防災計画作成モデル事業(笠岡市支援)として策定する。**

- 実施主体  
金浦地区まちづくり自治協議会 防災部会
  - 対象エリア  
金浦地域(小学校区)  
約2200世帯・約4600人(R3年6月現在)
  - 活動期間  
令和3年7月から令和4年2月
  - 作成部会メンバ(21人)
    - ・金浦地区まちづくり協議会防災部会メンバ
    - ・社会福祉協議会金浦支部の代表
    - ・金浦地区民生委員の代表
    - ・岡山県危機管理課、岡山県アドバイザー
    - ・笠岡市危機管理課、地域福祉課
- <12月作成部会から追加>
- ・金浦公民館館長



### <基本的な計画策定スキーム>

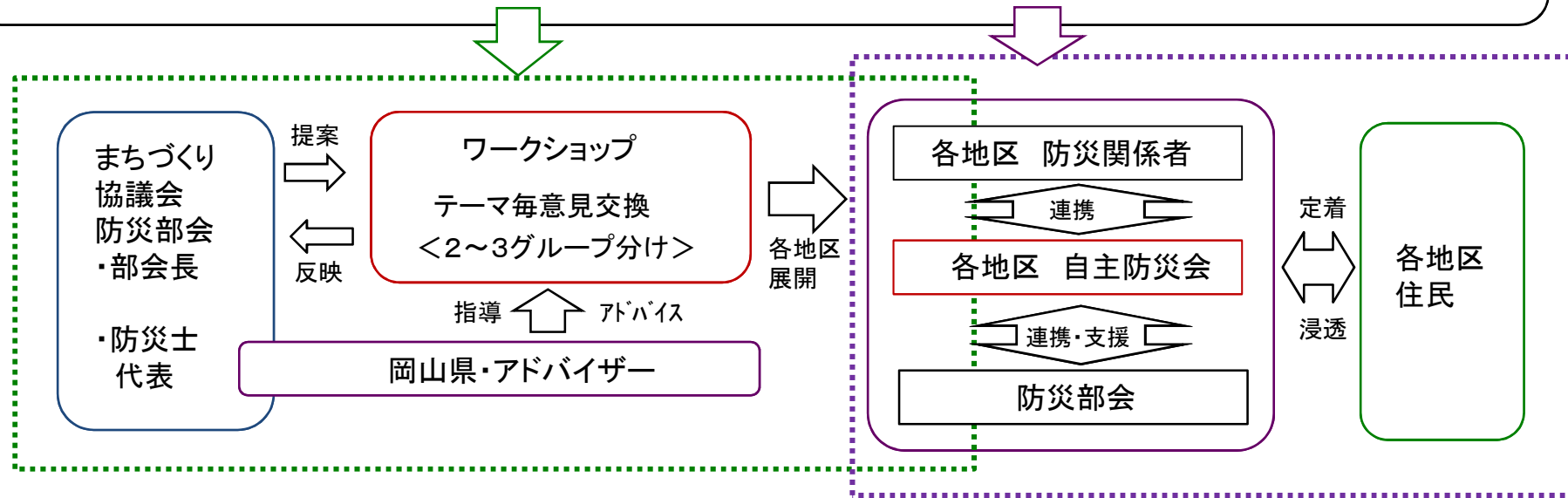


## 計画作成部会の進め方

災害(地震)は待たなし!!! ⇒ コロナ禍に配慮した活動

①感染症対策が徹底できる活動場所 ⇒ 金浦公民館集会室で毎月活動(非常事態宣言時は活動休止)

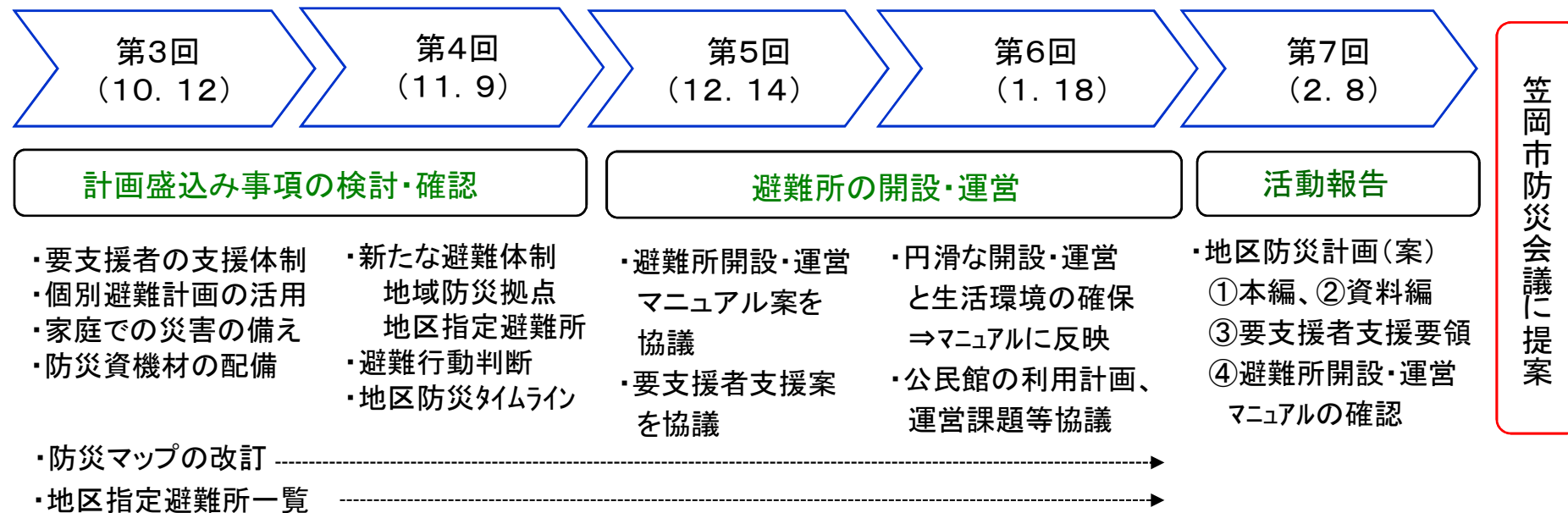
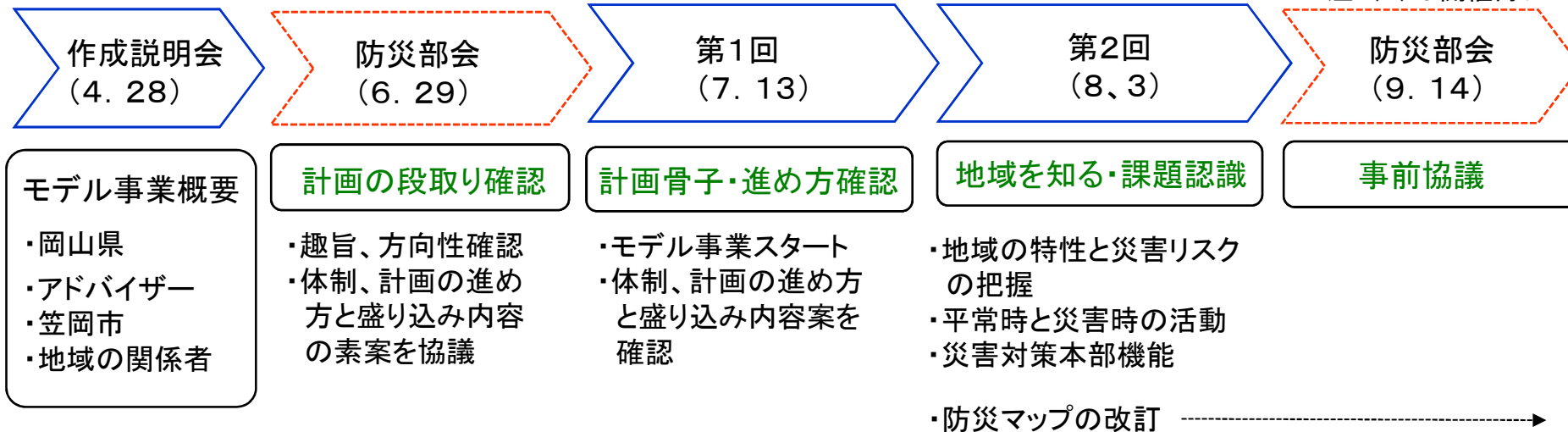
②人数制約と効果的な活動 ⇒ 今年度:防災部会が主体で策定 ⇒ 次年度以降:各地区が主体で住民展開





# 金浦地区防災計画作成の活動概要

注:( )は開催月日



笠岡市防災会議に提案

地区防災計画作成部会を7回開催・・・まちづくり協議会防災部会を2回開催

## 金浦地区防災計画の構成と主な内容

### 地域防災力の向上で逃げ遅れゼロを目指す「金浦地区防災計画」(29P)

活動目標、各地区の特性と想定される災害、平常時・災害時の活動、個別避難計画を活用した要支援者支援、災害対策機能、地域の防災拠点化と新たな避難体制の構築等を盛り込む。

- **基本方針**
  - **活動目標**
    - ・自主防災組織の役割
    - ・防災計画の対象範囲
  - **地区の概要**
    - ・地区別の特性と災害リスク
    - ・今後、想定される地域の災害
  - **防災活動**
    - ・平常時における防災活動
    - ・災害時における減災活動
    - ・各地区の活動体制(組織図)
  - **災害時避難行動要支援者の支援**
    - ・要支援者の支援体制
    - ・個別避難計画の作成と活用(別冊)
  - 避難行動判断(地震編・水害編)
  - **防災タイムライン**(地震編・風水害編)
  - 家庭における災害への備え
    - ・備蓄と非常持出品他
  - 防災資機材の整備
  - **災害対策本部機能**
    - ・地区災害対策本部と地域災害対策支援本部
    - ・本部の班構成と担務
  - 笠岡市指定緊急避難場所と避難所
    - ・定義と指定施設一覧
  - **新たな避難体制**
    - ・地区指定緊急避難場所と避難所
    - ・地域の防災拠点化
    - ・避難のスキーム
    - ・避難所開設・運営と避難所での生活環境確保
- 【資料編】(17P)
    - ・地区防災マップ(改訂版)
    - ・地区指定緊急避難所と避難所一覧(改訂版)
    - ・防災資機材の配備一覧
    - ・家庭での災害時の備えチェックリスト
    - ・防災関係機関の連絡網
    - ・笠岡市とライフラインの連絡・問合せ先
    - ・地域の主な業者の連絡・問い合わせ先
    - ・地域の医療機関一覧

【別冊】

◆地域で支え・助け合う「避難行動要支援者支援要領」(17P)

障害者や高齢者等避難行動要支援者に対する地域の支援の考え方と体制及び個別避難計画を活用した安否確認、避難支援及び避難支援者の役割等を盛り込む。

【盛り込み内容】

- 避難計画の作成・活用のスキーム
- 要支援者名簿の受領から作成・更新の流れ
- 要支援者の支援体制
- 避難支援者の役割
- 様式類と記入要領
  - ・個別避難計画
  - ・災害時避難行動要支援同意申請書

※個別避難計画の更新(毎年3月予定)の都度、課題等見直し

【別冊】

◆災害から命と暮らしを守る「避難所開設・運営マニュアル(地震編)」(29P)

南海トラフ巨大地震を想定し、地域防災拠点の金浦公民館を核とした、地域による主体的・自主的な避難所の開設から運営の仕方と運営班の構成と主要業務等を盛り込む。

【盛り込み内容】

- 震度5強以上の場合、金浦公民館に避難
  - ・開設主管自主防災会役員は、自動的に参集
- 避難所の考え方、開設・運営時の留意点
- 金浦公民館の開設から運営の流れ
- 災害発生時の具体的な開設手順とポイント
- 運営体制と運営班編成
- 各運営班の主要業務
- 避難所運営本部の運営要領
- 金浦公民館の避難所としての利用計画
- 開設キット 等

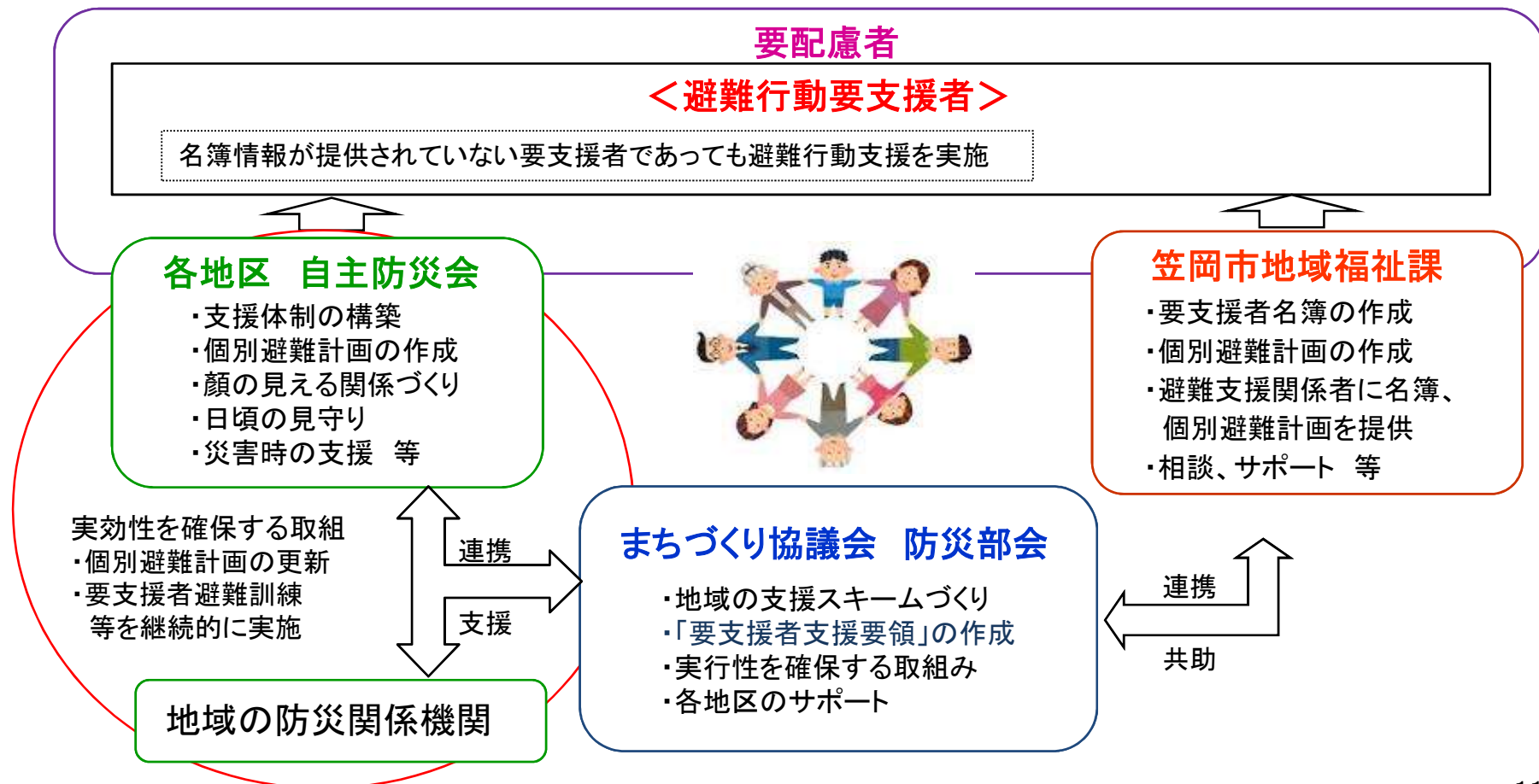
※情報伝達・実践的避難訓練(毎年)等の都度、課題等見直し

# 重点取り組み施策1 【 要支援者の支援(個別避難計画の作成・活用) 】

## 要支援者支援の基本スタンス

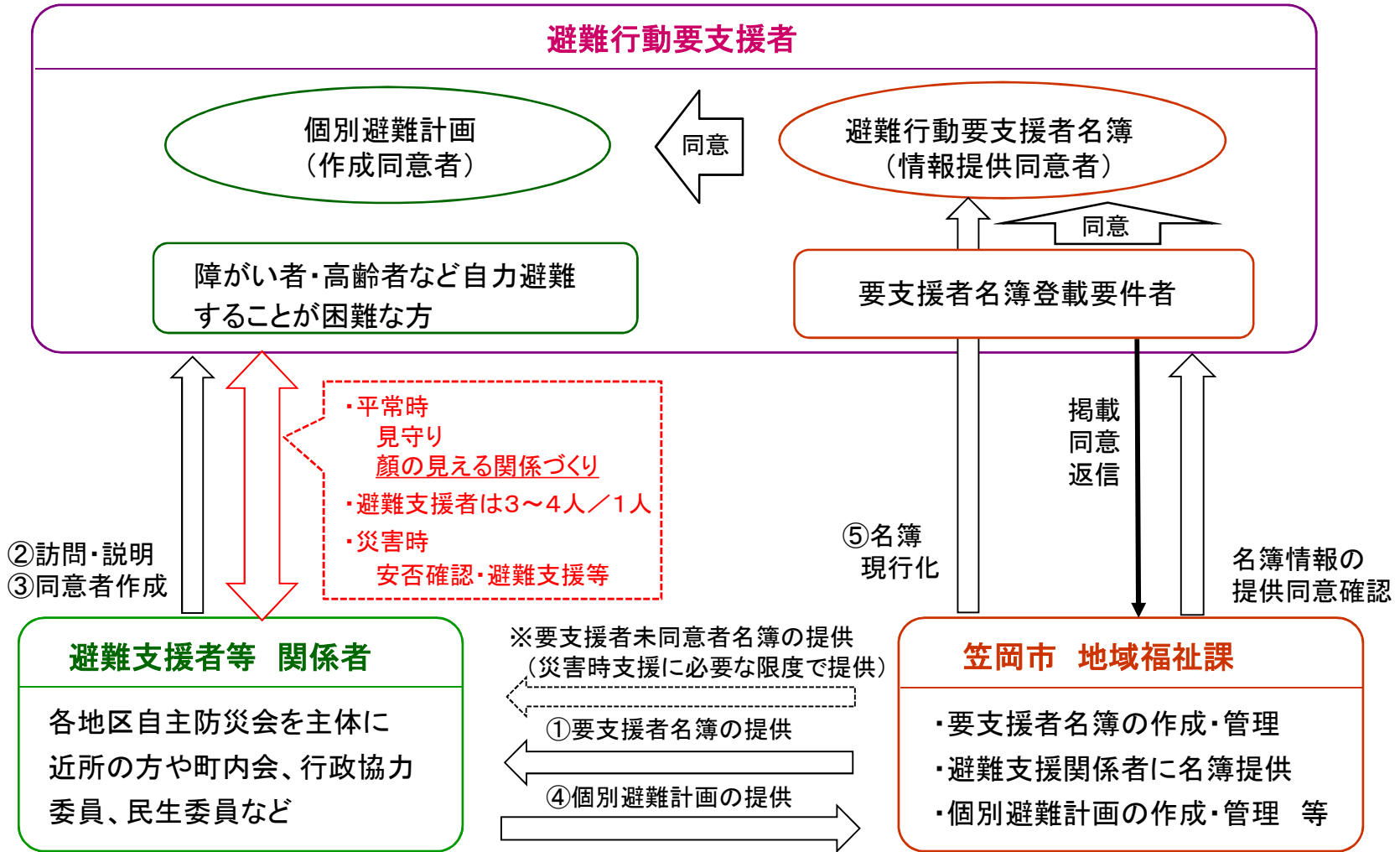
高齢者や障害者など、災害時の避難行動や避難所などでの生活が困難な方(災害時避難行動要支援者)に対して、近隣の方や自主防災組織などによる支援体制を確立し、状況に対応じた細かな救援を行う。

◆ 困っている人を、「地域」と「向う三軒・両隣り」で支え合い・助け合う関係づくり





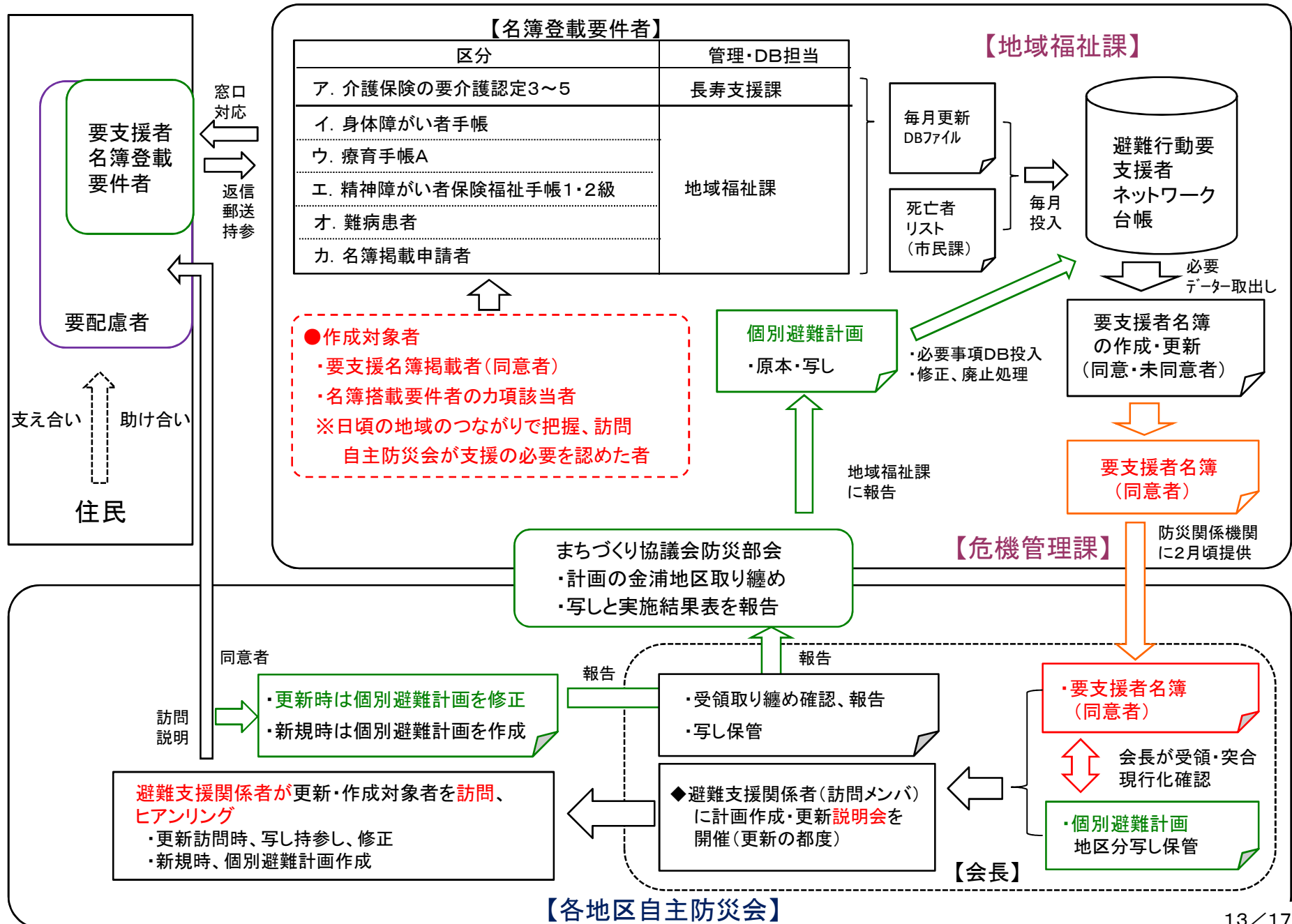
# 個別避難計画の作成・活用スキーム



## 個別避難計画の作成・更新状況

区分	要支援者の訪問状況			個別避難計画の作成状況			備考
	名簿掲載者	地区調査	合計	名簿掲載者	支援要望者	合計	
新規(R2年3月)	62人	111人	173人	44人	102人	146人	新規:名簿掲載者▲18の要因 ・訪問未同意、施設入居・死亡他 更新:名簿掲載者▲7の要因 ・施設入居、死亡
更新(R3年3月)	139人	—	139人	139人	—	139人	

# 要支援者名簿作成と個別避難計画作成・更新のサイクル



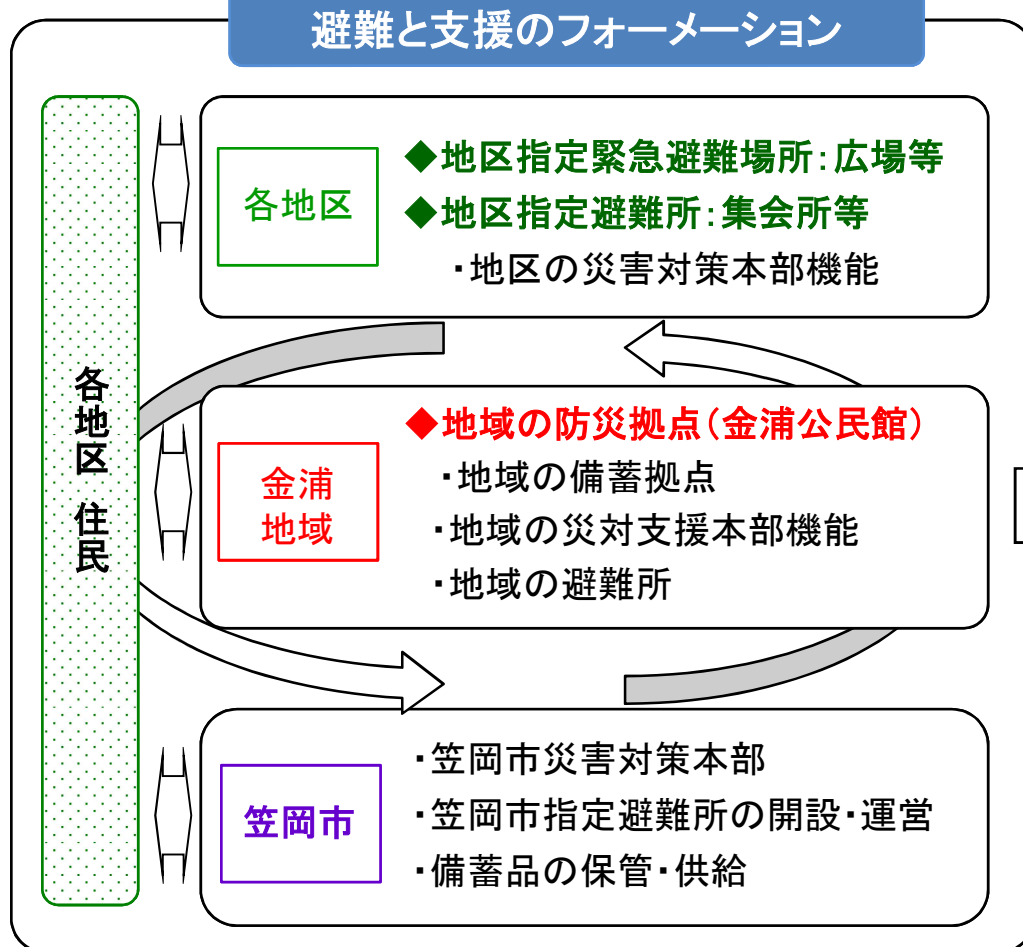
## 重点取り組み施策2 【 金浦地域の新たな避難体制づくり 】

### 避難体制の基本スタンス

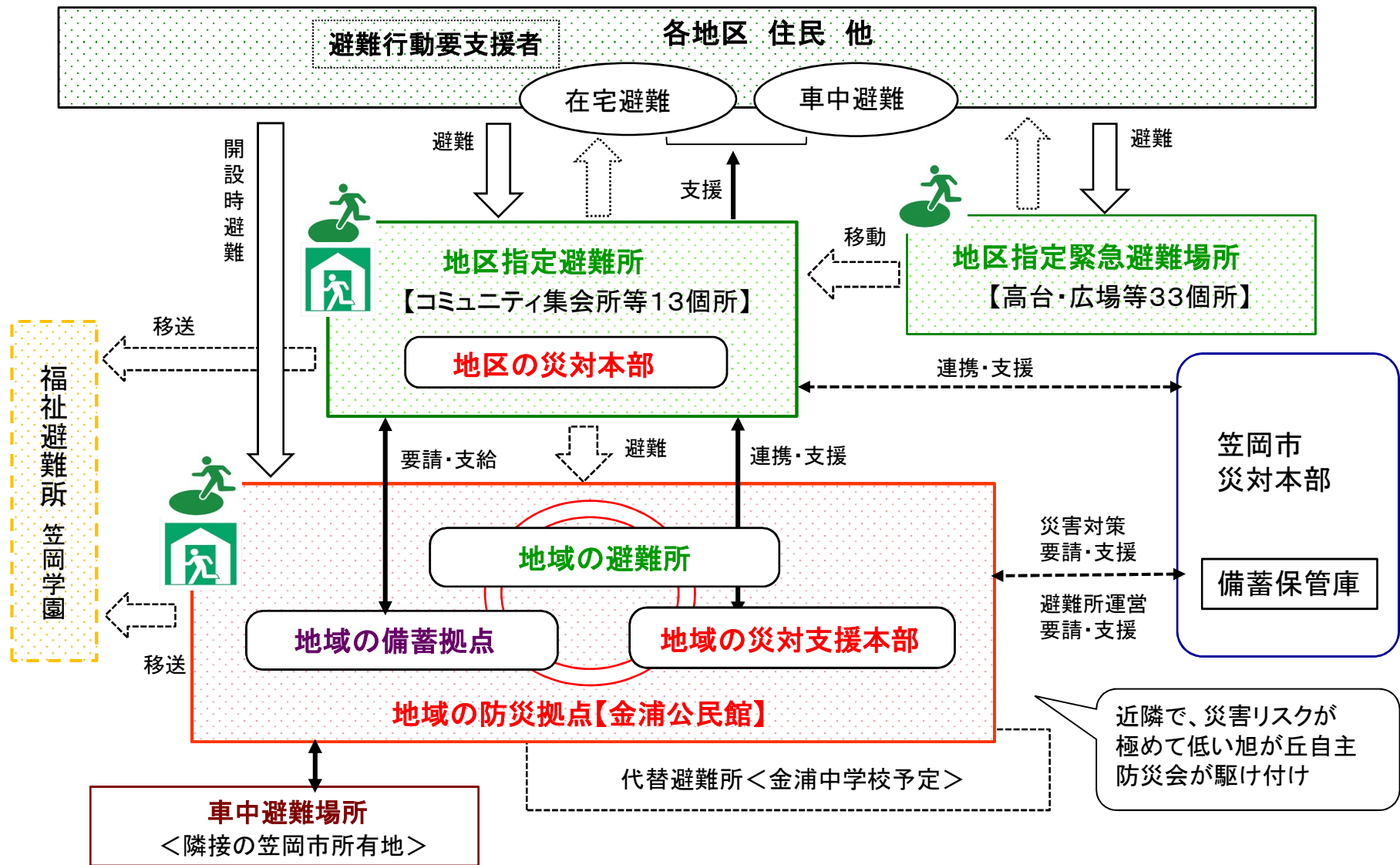
地域住民の観点から、地域として被災時の要配慮者、高齢者等の「逃げ遅れゼロを目指す」とともに、避難者の安心・安全な避難所生活を確保する。

- ・笠岡市指定避難場所の**補完的な避難施設を各地区で指定**、地域が**主体的・自主的に避難所を開設・運営**
- ・南海トラフ等大規模地震、或いは広域的被災時の住民支援のため、「地域の防災拠点化」づくり

### 避難と支援のフォーメーション



# 金浦地区の新たな避難のスキーム



## ●地域の防災拠点

- 災害対策機能と避難所で安心できる生活環境を確保
- 地域完結型の「備蓄保管庫」を金浦公民館東広場に設置
- 地域の自主的な避難所開設・運営マニュアルを作成

## ●避難所の呼称

- 地区指定避難所⇒届出避難所(仮称)
- 地区指定緊急避難場所⇒地区一時(いつとき)避難場所
- ⇒ ※笠岡市地域防災計画で定義



# 今後の主な取り組み

2021(R3)年度

2022(R4)年度

2023(R5)年度

2024(R6)年度～

・地区防災計画策定

・新たな視点で活動開始  
・住民共有

・普及  
・訓練等で検証・見直し

・定着  
・地区防災計画の改訂

## <環境整備STEP1>

## <環境整備STEP2>

備蓄品  
物資等  
順位付け

・備蓄保管庫の設置・防災拠点の整備  
・各地区指定避難所(集会所等)の整備

・避難訓練等による検証  
・拠点機能の整備

・避難開設・運営の具体化

・避難開設・運営の見直し・改善

・開設キット製作  
・様式集の作成

・地区災対・地域支援本部の運営演習(机上・実践)

・地区指定避難所  
表示板設置

・防災マップ改訂版  
・指定避難所等一欄  
・ダイジェスト版

・新たな防災部会の体制検討

・新たな部会のスタート

・笠岡市と緒課題の解決と市内への拡大促進

・主体的に活動する組織づくり

・全世帯配布

・住民説明

・防災研修会、避難訓練等の計画・実施

防災部会

各地区  
自主防災会

## 地域主体で笠岡市と連携、解決する主な課題

### 1. 住民の迅速・安全な避難

- 地区指定避難所と地区指定緊急避難場所の呼称と定義

### 2. 地域防災拠点〈金浦公民館〉の代替避難所の確保

- 笠岡市指定避難所の金浦中学校を指定。
- 休日、夜間等施設管理者不在時の開設・運営ルールづくり。

### 3. 避難所での安心できる生活環境の確保

- 備蓄品・物資等の避難所への供給ルールづくり。
- 仮設トイレの要請から設置・維持に関するルールづくり。

### 4. 避難行動要支援者の避難の仕方と福祉避難所への移送

- 避難所生活の要支援者の福祉避難所への移送ルールづくり。  
※指定福祉避難所の指定とその受入対象者の指定(公示)  
制度の導入と併せた福祉関係者との事前協議

地域と笠岡市関係者で  
意見交換



- 笠岡市HP、広報紙を  
活用した住民共有
- 笠岡市地域防災計画  
に盛り込み・改訂

災害時の実行性確保

## 笠岡市内への拡大促進に関する取り組みの提案

### ◆ 個別避難計画(2020年度に作成・その後更新)

- ・個別避難計画を活用した「避難行動要支援者支援」の制度化
- ・笠岡市地域防災計画へ策定とその扱いを盛り込み
- ・市民と自主防災組織に目的と必要性を説明

### ◆ 地区防災計画

- ・「笠岡市地区防災計画制度の運用」に関する制度化
- ・笠岡市地域防災計画へ策定とその扱いを盛り込み
- ・市内の自主防災組織へ目的と必要性を説明

- 笠岡市地域防災計画  
の盛り込み・改訂
- 笠岡市自主防災連絡  
協議会の活用
- 笠岡市HP、広報紙を  
活用した住民共有

金浦地区のノウハウ活用